

第4回 プロジェクト設定と コンテキスト設計 (CLAUDE.md)

Phase 2 | 環境整備 / 講義2h + ワークショップ6h

この回のねらい

- プロジェクトごとの「AIへの説明書」 **CLAUDE.md** を整備する
- AIの精度を上げつつ、**無駄なトークン消費を減らす**
- 「AIが間違えたら追記して再発防止」というルールの **育て方** を身につける

CLAUDE.mdとは

起動時にAIへ自動共有される「プロジェクトの常識・ルール集」。

何を書くべきか

- ビルド/起動/テスト/Lintのコマンド
- ディレクトリ構成と役割
- コーディング規約・命名規則
- **禁止事項** (main直push禁止 等)

コンテキスト最適化

- めったに使わない情報を全部盛りしない（**トークンの無駄**）
- AIが読むべき情報は最小限に → 詳細はIssueや個別ファイルに

育て方

AIが規約違反 → CLAUDE.mdに1行追記 → 次から守る、のループ

ワークショップ (6h)

1. 自分のリポジトリ用 **CLAUDE.md** を作成 (人が精査)
2. ビルド/テスト/Lintコマンドを登録 → AIに自動実行させる
3. **矯正体験** : CLAUDE.mdなし/ありで出力品質を比較
4. Before/Afterをグループで共有・発表

回のゴール

自社/自分のプロジェクトに
実用的な**CLAUDE.md**を整備 できる。

OJT課題：1～2週間運用し、追記を3件以上行う（AIの間違いを潰す）